

東京地下鉄株式会社が発行する 「サステナビリティボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 柳沢祥二、以下「当組合」）は、東京地下鉄株式会社が発行する第 41 回サステナビリティボンド・一般担保付普通社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2020 年 6 月 12 日）。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が①環境改善効果があること（グリーン性）および、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

本債券の資金用途については、丸ノ内線 2000 系車両の導入、ホームドアの整備及び太陽光発電システム設置に係る費用の一部に充当する予定であります。

また、本債券の発行にあたって策定した「サステナビリティボンド・フレームワーク」について、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国際資本市場協会（ICMA）のサステナビリティボンドガイドラインなどの原則との適合性に対する外部評価（セカンドオピニオン）を取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上